

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立三先小学校学校協議会

## 1 総括についての評価

- 本年度の学校の自己評価結果はおおむね妥当である。
- 学校協議会の場を、学校が現在抱えている課題について、もっと話し合えるようにできればいいのではないか。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

**【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】**

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。  
【R5:77.7% (市 79.6%)】【R6:79.9% (市 81.5%)】
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
【R5: 0.57%】【R6:0.6%】
- ・令和 6 年度末の校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と回答する割合 90%以上を維持する。  
【R6:中間 92% 期末 95%】
- ・令和 6 年度末の校内アンケートにおいて、「自分には、良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する割合を 70%以上にする。【R6:中間 85% 期末 83%】
- ・令和 6 年度末の校内アンケートにおいて、「学校に行くのが楽しい」と回答する割合 90%以上にする。  
【R6:中間 91% 期末 92%】

**学校園の年度目標**

- ・令和 6 年度末の児童アンケートで「友だちと仲よく遊べていますか」の項目において、肯定的な回答をいずれの学年も 95%以上にする。  
【R6: 1 年 96% 2 年 98% 3 年 84% 4 年 98% 5 年 98% 6 年 98%】
- ・令和 6 年度末の児童アンケートで「みんなで協力してたてわり班活動をすることができている」、「自分からあいさつができる」の項目で肯定的な回答を 90%以上にする。  
【R6:たてわり班 97% 自分からあいさつ 89%】
- ・巡回指導や特別支援研修会を年 2 回以上行い、教職員全体で連携し、指導の充実を図る。
- ・低中高学年部会で学期に 1 回以上、個別の指導・支援計画を活用しながら支援の手立てについて共通理解を行う。  
**【巡回指導や特別支援研修会を 2 回以上行った。】**  
**【低中高学年部会で学期に 1 回以上、個別の指導・支援計画を活用しながら支援の手立てについて共通理解を行った。】**
- ・令和 6 年度末の児童アンケートにおいて、「災害が起きた時、どのように行動すればよいか知っている」の項目で肯定的な回答を 90%以上にする。  
【R6:93%】

- ・令和6年度末の児童アンケートにおいて、「不審者が学校に侵入した時、どのように行動すればよいか知っている」の項目で肯定的な回答を90%以上にする。

【R6:95%】

- ・学年末に、今年度実施した取り組み（活動）内容を報告し、来年度に引き継ぐ。  
【今年度実施した内容を、「キャリア教育引き継ぎシート」へ引き継いでいく。】

- 達成状況の評価に関しては妥当である。評価結果からも子どもたちが落ち着いて学校生活を送ることできていることがうかがえるので安心している。いじめについて、いじめにつながる事案が小さいうちに解決するよう取り組んでいることが大事である。児童アンケートで、「いじめはどんなことがあってもいけないことだ」の項目で、否定的な回答をしている子どもがいるところが気になる。

#### 【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 【全市共通目標（小・中学校）】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上にする。

【R5:48.1%（市：39.5%）】【R6:38.5%（市：40.4%）】

- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。

【R5:4年：国0.1P↑、算0.08P↓、5年：国0.03P↑、算0.07P↑】

- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度以上にする。

【R5:87.5%（市：78.9%）】【R6:82.7%（市78.7%）】

- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度以上にする。

【R5:85.3%（市76.6%）】【R6:82.6%（市76.5%）】

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上にする。

【R5:75.5%（市68.9%）】【R6:73.9%（市68.9%）】

##### 【学校園の年度目標】

- ・令和6年度末の児童アンケートにおいて、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合70%以上を維持する。【R6:73%（1～6年）】
- ・令和6年度末の児童アンケート「手洗いうがいをしている」の項目で肯定的回答を90%以上にする。【R6:91%】
- ・栄養教育推進事業を活用し、全学年2回／年、栄養教諭による食に関する指導を行う。  
【栄養教育推進事業を活用し、全学年年間2回、栄養教諭による食に関する指導が計画通り行った。】

- ・令和6年度末の児童アンケートの「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」の項目で、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする【R6:47%】。
- ・英語についての研修会を年2回以上実施する。【英語指導の構内研修を3回行った。】
- ・令和6年度末の児童アンケートにおいて、「外国語(英語)の勉強は好き」「どちらかといえば好き」と答える児童の割合を80%以上にする。【R6:91%】
- ・令和6年度末の児童アンケートで、「本を読むことが好き」の項目において、肯定的な回答で80%以上にする。【R6:83%】
- ・授業を行う全教員が指導力を向上できるように、1人1授業を行う。  
【全員研修授業を行い、スクールアドバイザーによる指導を受けた】
- ・「教科・領域の指導法」「ICTを生かした指導法」を中心とした研修会をする。  
【ICT研修を3回行った】

- 達成状況の評価に関してはおおむね妥当である。経年調査の結果が少し下がっている部分が気になる。課題を明確にして克服できるよう取り組んでいただきたい。

### 【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・デジタル教材を活用した朝学習を週1回実施する。【実施した】
- ・協同学習支援ツールを用いた学習を週1回実施する。【1年生以外は実施した】
- ・教職員の年次休暇を10日以上取得する割合を90%以上にする。【R5:100%】【R6:100%】
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を60%以上にする。【R5:62.9%】【R6:77.8%】

【基準1】 次の2点を両方とも満たす  
 ①45時間を超えない ②年間360時間を超えない

#### 学校園の年度目標

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業数の50%以上にする。【R6:25%】
- ・教員の児童・生徒のICTを指導する能力に対する肯定的回答の割合を、85%以上にする。【R6:100%】
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。【R6:100%】

- 達成状況の評価に関しては妥当である。学びに ICT 化することが必ずしも学力を上げることにつながらないのではないか。ICT 機器を使うことで子どもの理解が深まる単元はどこなのかをしっかりと見極めて指導するようにしてほしい。教員の働き方改革も一定の成果を出している。今後も大変な業務の中であるが、できることから実施してほしい。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- すべての目標に対して取り組んでいかなければならぬが、学校として重点を絞りつて取り組み、そのことを中心に次年度、報告してほしい。
- 学校協議会 자체を、今、学校が悩んでいる課題について話し合う機会にして、少しでも運営の助力になればと思う。